

まちの話題

市内各地で行われたイベントなどの話題をお届けします！



今日は私が看護師さん



鉄道と情報ネットワークの秘密を探れ



カイコのまゆから絹糸づくり

7/20・29・30・8/7 令和元年度きたもと子ども大学を開催

市内の小学4～6年生43人が大学生になり、なぜを追求する「はてな学」、郷土を知る「ふるさと学」、よりよく生きる「生き方学」の3つの分野を学びました。学習プログラムは、北里大学看護専門学校「今日は私が看護師さん」、埼玉県自然学習センター「カイコのまゆから絹糸づくり」、JR東日本旅客鉄道高崎支社「鉄道と情報ネットワークの秘密を探れ」、テレビ朝日「テレビの舞台裏と番組リポートに挑戦」の4講座。参加児童は、夏休みならではの貴重な学びを体験しました。



9/9 ふるさと納税で寄附された楽器に感謝！

市では、中学校吹奏楽部で使用する楽器の不足を解消するため、7月から使われなくなった「休眠楽器」を全国の所有者から寄附していただく「楽器寄附ふるさと納税」を首都圏で初めて開始しました。初めて届いたクラリネット2本の贈呈式が北本中学校で行われ、市長から吹奏楽部の生徒に手渡されると、生徒たちから、お礼の言葉と感謝の気持ちがこもった演奏が披露されました。



9/25 市役所職員に突撃インタビュー！

北本中学校の1年生が「総合的な学習の時間」を利用して、市役所を訪問しました。北本市のまちづくりについての取り組みを知ることによって市の魅力と愛着を深めることを目的に実施され、生徒たちは各部署の職員に熱心に質問し、真剣な表情で話を聞いていました。生徒からは「直接お話が聞けて、貴重な体験ができました。」という感想がありました。

きたもとは遺跡のまち

突撃！
市民リポーター

市民リポーターの大嶋佐知です。

北本は歴史の上に存在するまちだな～と実感する瞬間があります。…それは、発掘調査が行われたとき。

2018年12月～2019年4月、深井4丁目において大型店舗建設に伴う緊急発掘調査がありました。調査場所は、市内約100か所ある埋蔵文化財包蔵地(遺跡)のひとつ「雑木林遺跡」です。実はここ、発掘調査で「謎」が解明されるのではないかと研究者注目の遺跡でもあるのです!!

【謎その1】遺跡内の大きく窪んだ場所は「まいまいず井戸」といわれていたが、実は…!?

【謎その2】周辺は鴻巣七騎の一人である深井対馬守景吉の居館とされていたが、実際は…!?

調査区からは古墳時代や中世の遺物が出土しています。検出されたもの、そして上述の「謎」について詳しくお知りになりたい人は、市ホームページの「市民リポーター投稿記事」をご覧ください、文化財保護課までお問い合わせください。

北本は掘れば何かが出てくる!興味深いまちです。

詳しくは市ホームページへ

市民リポーター

検索



画像提供：文化財保護課

リポーター
大嶋 佐知さん